

広報

2005

6月

No5

あそ

主な内容

- 2・3P 特集 6月は環境月間
- 4P 避難場所を確認しましょう
- 5P 田園空間博物館事業紹介
- 6～11P まちのわだい
- 12～21P お知らせ
- 22P 「人」山部チモトさん
- 23P Let's English
- 24P 図書館からのお知らせ
- 25P Nice Couple
- 26～28P お知らせ
- 29P おめでとうコーナー

ホームページ：http://www.city.aso.kumamoto.jp/



話に夢中。子どもはこんなに本が好き

～子どもと本をつなぐ架け橋「読み聞かせ」～

自分で考え想像させる本は、子どもの心豊かな成長にかかせないもの。

阿蘇市ではボランティアの方々の協力で「読み聞かせ」の輪が広がっています。

乙姫小学校では写真のように保護者や地域の人たちも、朝自習の時間に行う「読み聞かせ」に加わり、子どもたちに本の楽しさを伝えています。

梅雨に入り雨の日が続きます。こんな時、ゆっくり本を楽しんでみてはいかがでしょうか。

(市立図書館の情報は本誌24、25ページに掲載しています)

(平成17年4月末現在)

人口：30,195人

男：14,211人 女：15,984人

世帯：10,542世帯

一年間の生活ごみ

市役所を容器に例えると

なんと

2杯分!!



一般廃棄物(ごみ)

事業活動に伴って発生する一般廃棄物

事業所から出る一般廃棄物は、直接、処理センターへ持っていか、処理業者に回収してもらい、家庭から出るごみと同様にゴミステーションに置かないように注意して下さい。

家庭から発生する一般廃棄物

阿蘇市の家庭から出るごみの量は、年間5,588トン（H15年度実績）。これは、容量が1m³のごみの重さを0.3tとすると、阿蘇市役所本庁舎(8,700m³)を容器に例え約2杯分に相当します。

ごみ処理にかかる経費は、年間1人当たり9,800円。今すぐできる経費削減の方法として、「生ごみを減らす」「分別をきちんとする」があります。生ごみの水気で、ごみ全体の水分量は50%に膨らみ

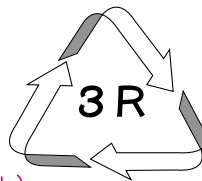
ます。乾燥にかかる経費は相当なもの。また、ごみ収集場を汚す原因の多くも生ごみ。現在、市では、生ごみの減量化のため、生ごみ処理機等の購入に対し補助制度を設けて、普及を図っています。

処理費削減のカギは2つ
「生ごみを減らす」
「分別をきちんとする」

それには、市民・事業所・行政が一体となり、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動を見直し、環境に負担の少ない下の図のような循環型社会をつくることが重要です。

阿蘇市では、ごみを処理するという考えでなく、ごみとなるようなものの利用を抑制し、排出されるものはできるだけ再利用、残るものは適正処理するという考えを基本に、資源利用効率・環境効率の高いまちづくりを目指しています。

リデュース(Reduce)
ごみを出さない



リサイクル(Recycle)
使い終わったら資源に戻す

リユース(Reuse)
ものを再利用する

あなたのごみ減らせませんか？

未来館へ
見学に行こう！

可燃ごみをエネルギーに変えるRDFシステムやビン・カンのリサイクルラインを見学しませんか！

大阿蘇環境センター未来館では、施設の見学・環境学習会を行っています（2時間程度・予約制）。稼動して2年半の間に阿蘇市だけでも、グループ研修や区の行事など3千人を超える人たちが見学に訪れています。参加者から「ごみについての考え方が変わった」と好評を得ています。ぜひ、一度足をお運びください。

5月17日は坂梨小学校の4年生が見学に来ていました。



▶ごみ投入場。市内を回る6台の収集車が排出のため出入り。扉にエアーカーテンが設置され臭いや虫をシャットアウト。

エコの掲示板

分別がきちんとできていれば
ごみ収集に出したごみは全て資源になります

大阿蘇環境センター未来館では、環境を守るためごみは焼却しません。一般ごみを固形燃料化し、その他のごみは隣接のリサイクルセンターへ運ばれ、資源に変わります。

トレー・牛乳パックのリサイクル量ふえています

スーパーなどに設置されているトレー・牛乳パックリサイクルボックス。内牧のスーパーでも「1日3回袋を替えるほど利用がってます」とのこと。洗って持っていくのは面倒。しかし多くの市民の方がエコ活動に協力いただいています。



ゴミの情報はホームページが便利

ごみの分別方法、ポイント、ごみ収集日がわかるカレンダーなどの情報が阿蘇市のホームページから、ご覧いただけます。
ホームページアドレス

<http://www.city.aso.kumamoto.jp/section/hoken/index.htm>

生ごみを家庭で処理！市の補助があります

生ごみを減らすことが、ごみ処理経費の削減の一番の近道とあって、市では生ごみ処理機に対し補助制度を設けています。使用すると、生ごみは乾燥して大変小さくなるので、ごみを出す回数が減ります。
電気式ごみ処理機に20,000円(上限額)、コンポスターに2,000円の補助があります。



電気式ごみ処理機：例

- 電気式生ごみ処理機：「乾燥式」と分解システムを応用した「バイオ方式」、双方の機能を持った「ハイブリット方式」があります。
- コンポスター：大型のバケツを逆さにしたようなものを土に埋め、中に生ごみを投入し土を被せていきます。2～3ヵ月で堆肥として利用できます。

問合せ先：阿蘇市役所保健課 22 - 3167

袋の色	ゴミの種類	再生品
黄色	固形燃料ごみ 	RDF (固形燃料)
透明	びん類・缶類 	同色のびん・アルミ缶など
	ペットボトル 	衣類やタマゴパックなど
ひもで縛る	新聞・チラシ類 雑誌類 	ダンボール・再生紙など
	衣類 	衣類など アルミ製製品・建築資材など
青色	小金属・ガラス類 	
直接持ち込み	粗大ゴミ 	
	有害ごみ 	建築材料など



見学のお申し込み、また、ごみ処理についてのご質問などがございましたら大阿蘇環境センター未来館 24-5353 (阿蘇市跡ヶ瀬177番地)まで、お気軽にどうぞ。

館内案内含めスタッフが詳しく説明します。



▲中央監視室。



▲研修室での講習。